

経営比較分析表（令和5年度決算）

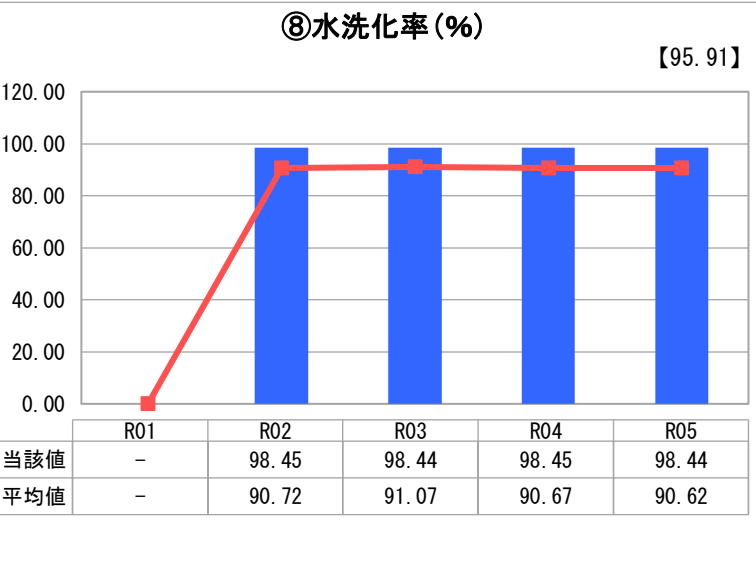
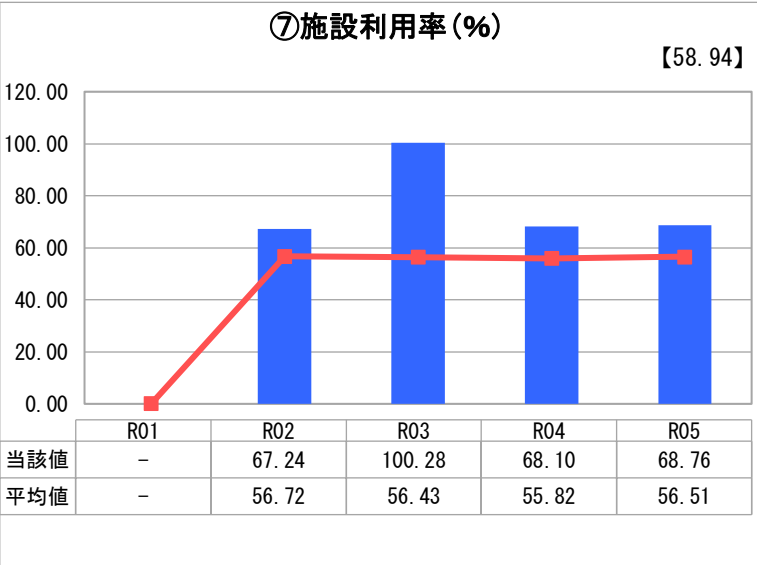
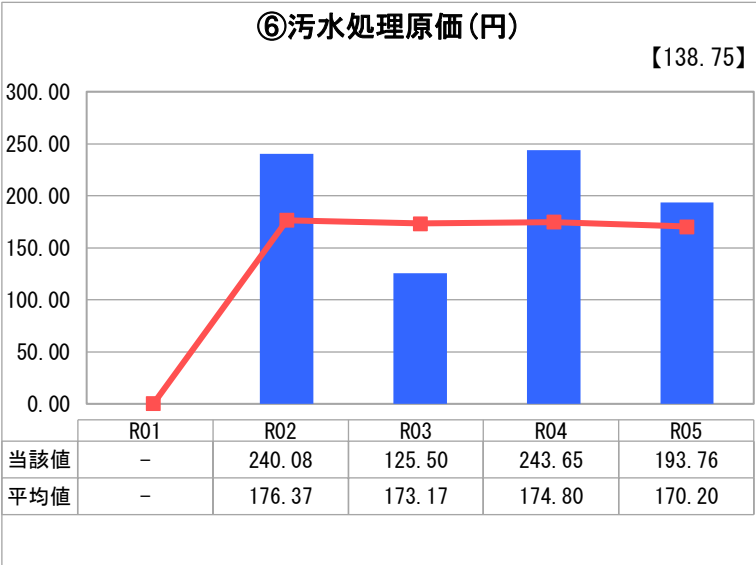
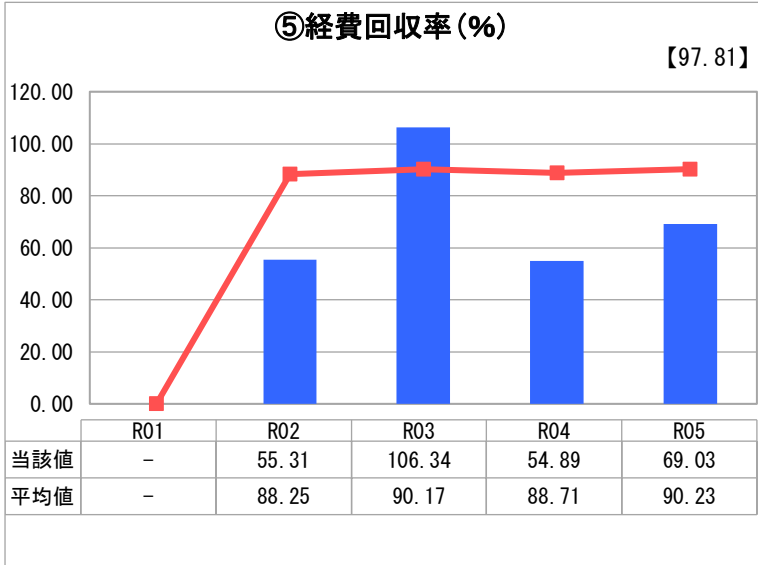
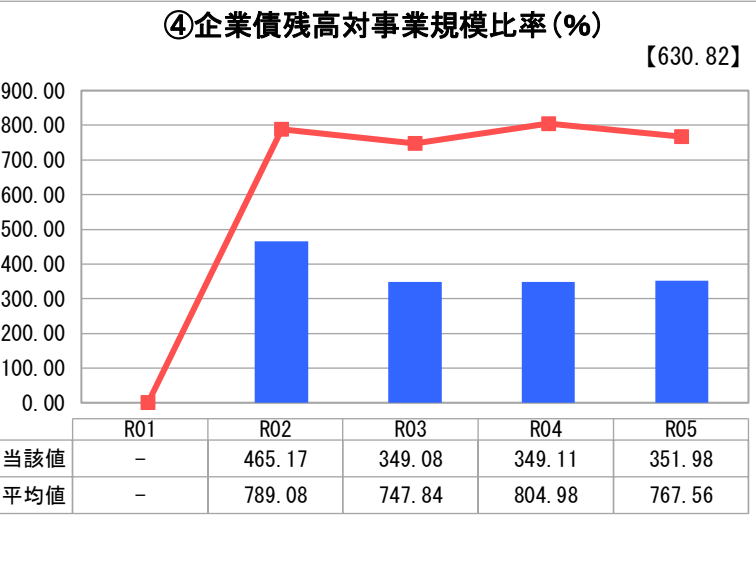
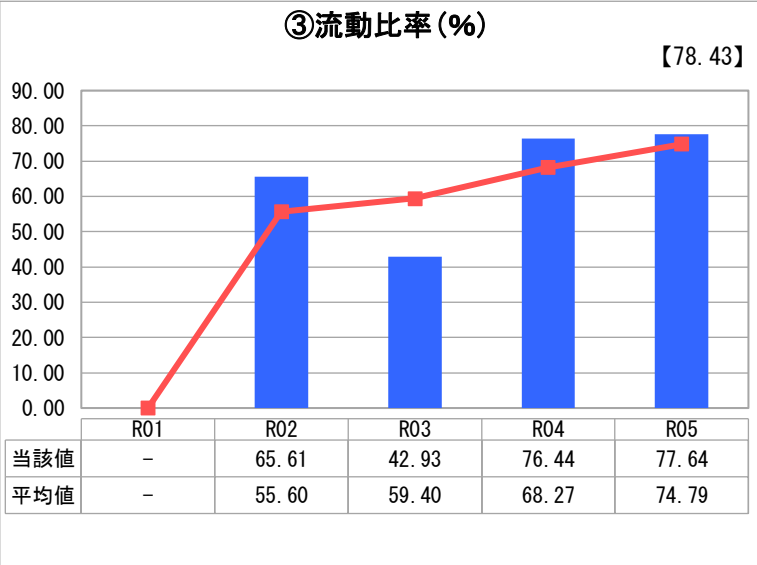
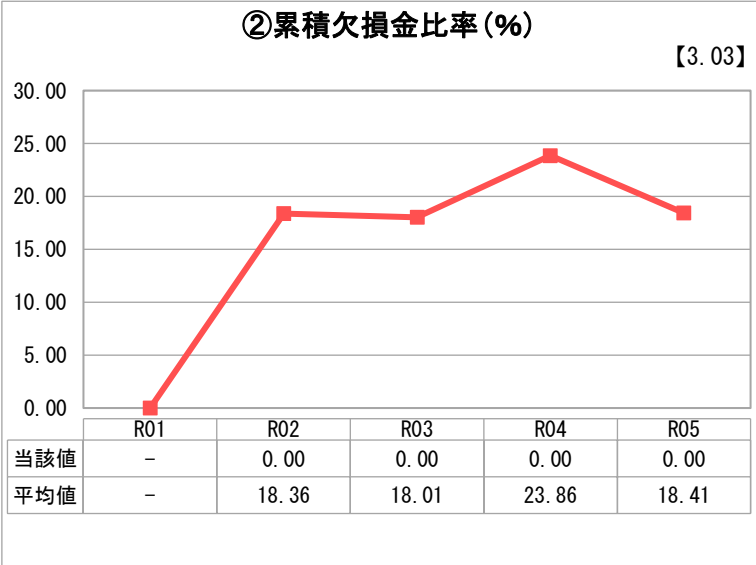
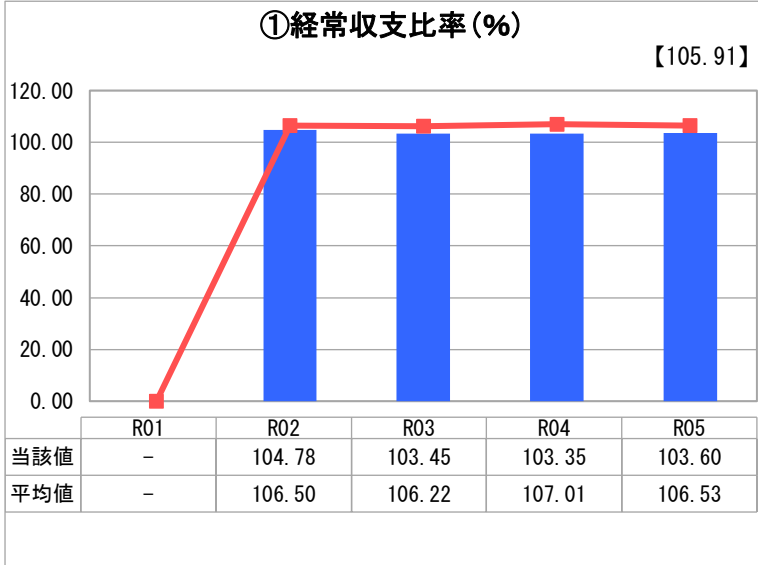
千葉県 栄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.77	84.42	81.94	2,550

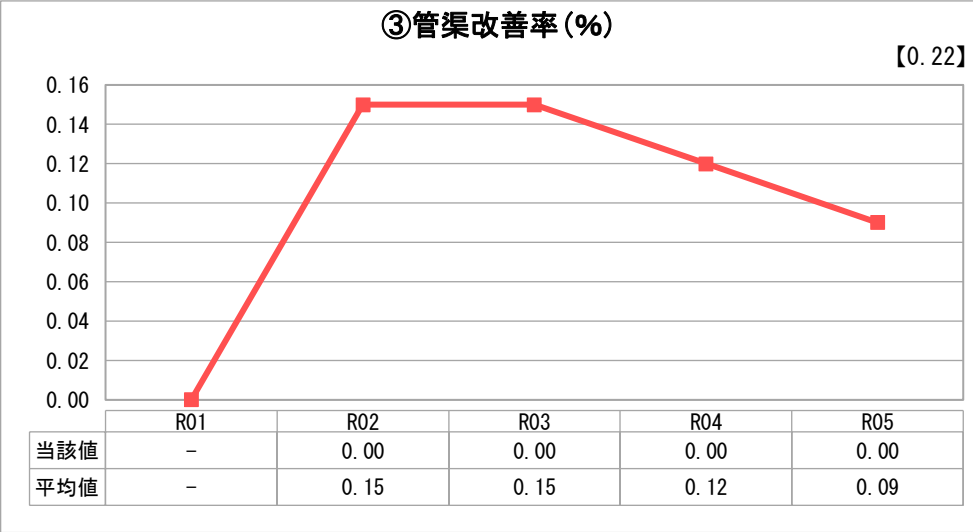
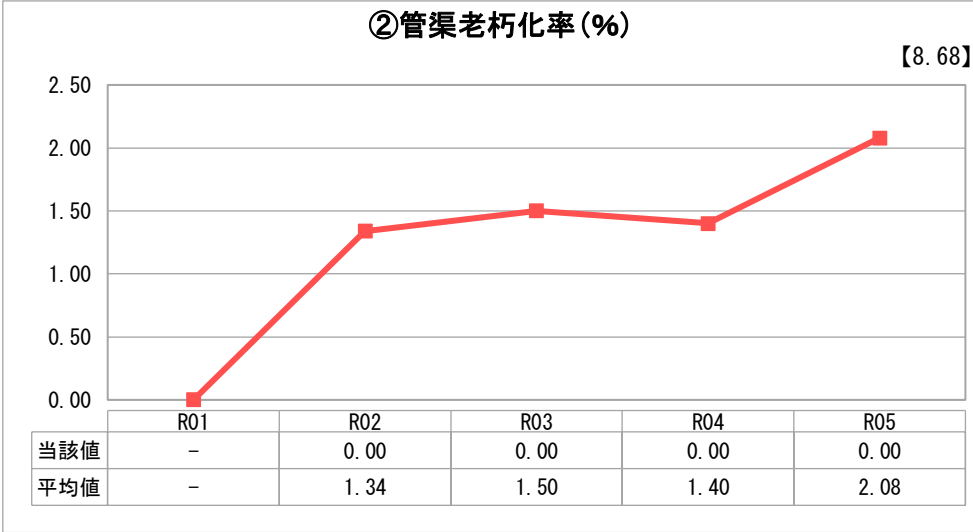
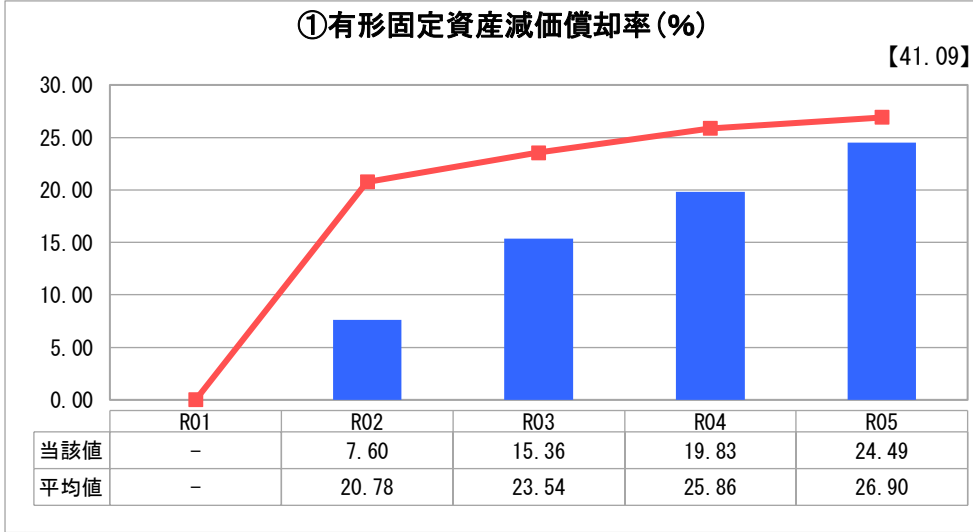
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,842	32.51	610.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,674	4.68	3,562.82

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、下水道使用料は減少していますが、費用を削減することで100%を上回る水準を維持しています。

②累積欠損金については、黒字経営により0%になります。

③流動資産については、事業費用に対する現金保有高が低く、今後も100%を下回る状況が続くと予想されます。

④企業債残高対象事業規模比率については、引き続き当該年度企業債償還金を下回る借入れを目指すことから、今後も企業債残高は減少すると予想されます。

⑤経費回収率については、下水道使用料の減少した一方、汚水処理費も減少したことから前年度より回収率が上がっています。

⑥汚水処理原価については、汚水処理費の減少により前年度より下がっています。

⑦施設利用率については、水洗化人口減少に伴い、汚水処理水量が減少する見込みであり、現状より下がるのが予想されます。

⑧水洗化率については、汚水管渠整備がほぼ完了しており、今後も現状の数値で推移していくと予想されます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、当町の終末処理場等の施設は、供用開始（昭和57年度）から40年以上経過し、老朽化が著しいことから、ストックマネジメント計画に基づき改築・更新を進めていきます。また、総合地震計画に基づき施設の耐震化を図っていきます。

②管渠老朽化率については、法廷耐用年数を経過した管渠はありませんので0%となっています。

③管渠改善率については、前年度に引き続き管渠の更新・改良はありませんので0%となっています。

全体総括

当町の公共下水道事業は、工場等の下水道使用料の割合が大きいです。人口減少に伴う使用料収入の減少や維持管理費等の増加による汚水処理減価の高騰が予想され、将来的には、経常収支比率及び経費回収率の悪化が見込まれるため、経費の増加を見込み使用料改定を検討する必要があります。

また、施設の老朽化については、ストックマネジメント計画及び地震総合計画に基づき、計画的な改築更新を進めるとともに更なる経営の健全化・効率性に努めつつ安定した下水道事業経営に取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。